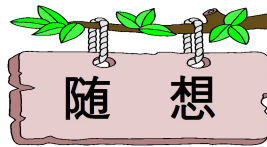




創刊
昭和42年10月10日
第145号
平成28年10月3日
能代市教育委員会
学校教育課
題字 元能代市教育長
鎌田 宏



「『わ』のまちな能代」を実感

淳城南小学校長

石戸 世津子

この夏休み、本校の学区内のラジオ体操に出かけてみました。

ラジオ体操会場は、主に公園や自治会館前、神社などですが、病院のグラウンドや老人福祉施設の駐車場などお借りしていました。訪問した公園のほとんどは「下刈り」を行っていました。ある会館前では「ここはラジオ体操会場です。車を止めないでください。」の張り紙もありました。自治会の方々のラジオ体操会場へのお心遣い。なんとありがたいことでしょうか。

また、どの会場にも保護者の方や自治会の方々の姿がありました。子供たちを見守る大人の存在。なんと心強いことでしょうか。

さて、肝心の子供たちの様子はというと、会場ごとに集合や整列の仕方に特色があり、興味深く感じました。唯一共通していたのは、六年生の押してくれるハンコの列に殺到するおなじみの姿。なんと、なつかしいことでしょうか。

猛暑の夏休みでしたが、子供たちの笑顔と出会い、ともに青空を仰ぎ、気持ちよい朝を過ごすことができました。同時に、子供たちを慈しみ、育む「『わ』のまちな能代」を実感することができました。

「地域との連携」を学校経営目標に掲げているながら、学区内に足を運ぶ機会が見出せないことが悩みました。その悩みが少し解消できた、「最後の夏休み」でした。



ランダムに
なんとなく
教室内を
歩いて
いませんか？



先回りの個別指導

鶴形小学校

鈴木 慶子

算数の問題に取り組み前に、「分からない時には手を挙げてください。すぐ行きます。」と鈴木先生が指示を出しました。

でも、挙手は無し。なぜなら、先生がどの子どもがどこでつまづくかを予想し、机間指導で先回りの個別指導を行っているからです。

(文責 教頭 大久保喜徳)